



熊本県スーパーハイスクール指定校合同研究発表会 (KSH)

12月2日(日)、崇城大学 SoLA ホールをメイン会場に、熊本県スーパーハイスクール指定校合同研究発表会がありました。これは県内のSSH4校、SGH2校、SPH2校、SGLH校4校、希望する高校1校の13校が一同に会し、主にポスター形式で研究発表を行うものです。

天草高校は、ASⅡ11班、ASⅠ1班、科学部2班の計14班が研究発表を行いました。他校の生徒たちとディスカッションを行いながら、研究を深める機会となりました。

会の最後には、科学部が「50年後の熊本県の海水準予測」というテーマで代表口頭発表を務めました。専門的な内容をどのように伝えるかということに焦点を置き練習した成果が十分に出た発表となりました。 ※SGHのGはグローバル・SPHのPはプロフェッショナル・SGLHのGLはグローバルを意味します

★感想★

- 積極的に声を掛け、自分たちの研究を伝えることができた。回数をこなすごとに伝え方が向上した。
- 他校の生徒や先生方と話す中で、データの収集・分析・処理の必要性を改めて感じる機会となった。
- 天草高校で研究されていない発表が興味深かった。私たちの研究の参考になる例もあった。
- 相手に伝えることの大切さを感じ、研究をもっと進めようと思った。質問する量も増やしたい。



科学の甲子園熊本県大会

12月2日(日)、崇城大学で科学の甲子園熊本県大会がありました。

60分の筆記試験と90分の実技試験があり、本校は1・2年生から選抜された8名で参加しました。物理・化学・生物・地学・数学・情報といった幅広いジャンルからの出題に、力を合わせて取り組みました。県代表には届きませんでしたが、充実した大会となりました。



第2回 SSH 特別講演会 (JAXA 山田知佐研究員)

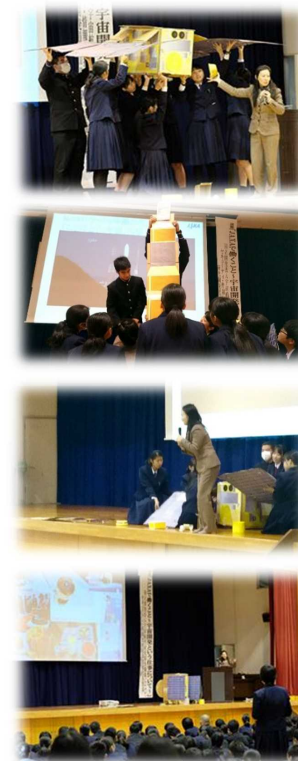
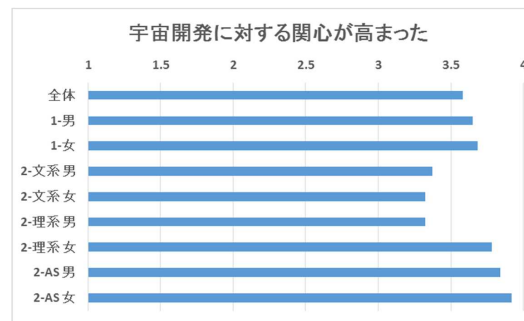
12月12日(水)に、天草高校体育館において、JAXA 研究員の山田知佐様による第2回SSH特別講演会を行いました。特別講演会は、科学技術分野の研究プロセスや成果、日本が担う課題や役割を学ぶことを目的として実施しています。

講演の中では、山田様特製のH-IIAロケット及び小惑星探査機「はやぶさ2」の模型を使った説明を受け、宇宙開発の基礎から応用まで幅広く学ぶことができました。また、山田様自身の体験をもとにした宇宙飛行士選抜試験の話など、普段は身近でない宇宙開発の魅力について学ぶことができました。最後に、チャレンジすることの大切さや、他人に自信を持って言える何かを見つけてほしいと激励を受けました。

★感想★

今日の講演を聞いて興味が深まりました。私が特に印象に残っているのは、「二度と映画は作せない」という言葉です。山田さんが言われた「何もしないと始まらない」というメッセージも心に響きました。今、私たちはSSHで研究に取り組んでいます。しかし、なかなか上手く進みません。何かを始めることから始め、良い結果が生まれるようにしたいです。

【4段階評価結果】



サイエンスキャッスル2018九州大会

12月16日(日)、水俣市民館でサイエンスキャッスル2018九州大会がありました。

天草高校からはASⅠ3班、科学部1班が出場し、ポスター形式で発表しました。九州各地の高校からの研究発表もあり、刺激を受ける会となりました。

